

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

東レ理念

企業は社会の公器であり、その事業を通じて社会に貢献する。新しい価値の創造を通じて社会に貢献する。

2 中長期の経営戦略

1. 持続的な成長の実現

ビジネスモデルの変革を進めながら持続的かつ健全な成長を実現。発展と持続可能性の両立をめぐる地球規模課題の解決へ貢献。

3. 価値創出力強化

技術開発力と多彩な素材群、サプライチェーン対応力、グローバル事業展開からお客様にソリューション提供。

2. SI・DI事業の拡大

成長領域であるサステナビリティイノベーション事業とデジタルイノベーション事業を推進。高成長・高収益事業の拡大と低成長・低収益事業の構造改革。

4. 競争力強化

事業の高度化・高付加価値化および品質力・コスト競争力強化に取り組み。財務健全性を確保しながら経営基盤を強化。

3 対処すべき課題

① 環境・資源課題への対応

- ・ バイオマス由来素材やリサイクル素材の開発・展開強化
- ・ ケミカルリサイクル技術開発推進とリサイクル高度化
- ・ 生分解性フィルム開発と廃プラ削減・リサイクル要請への対応

② 産業構造変化への対応

- ・ 自動車電動化(xEV)向け製品開発と事業拡大
- ・ 半導体・パワー半導体需要増加への対応と高機能材料開発
- ・ 有機EL市場成長への先取りと早期採用実現

③ 新規事業機会の創出

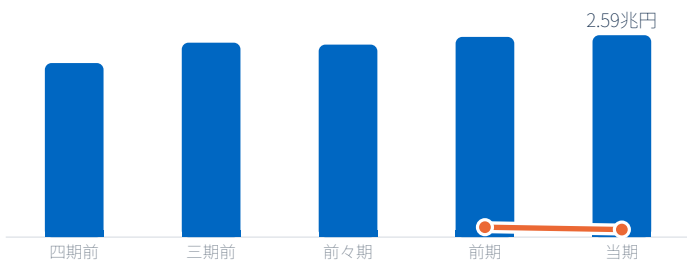
- ・ 航空機用途依存からの脱却と産業用途事業基盤構築
- ・ 水処理技術によるグローバルシェアNo.1獲得を目指す
- ・ 医療機器事業でAI活用やHotBalloon™の改良品開発推進

面接で使えるポイント

- ・ 東レ理念の『企業は社会の公器』の思想の下、革新技術・先端材料でxEVや風力発電、水処理などの地球規模課題解決に貢献
- ・ プロジェクト AP-G 2025で5つの基本戦略を掲げ、2030年度目標達成とSI・DI事業拡大を推進する中期経営課題に…
- ・ 炭素繊維で50年の研究開発蓄積を活かし、ボーイング787回復やUAM、燃料電池車といった新事業機会を創出

証券コード 3402

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2.59兆円営業利益率
3.8%財務健康度
41点 / 100点

要するに

1926年設立の総合素材メーカーで、2023年度の連結売上は2.56兆円

主力事業・セグメント

- Fibers・Textiles 41.0%
- Performance化学 34.9%
- CarbonFiberCompo 11.7%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高2.59兆円の大企業
- 将来性評価は晴れ時々曇り
- 平均勤続17.4年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 64.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
838万円

繊維製品内 3位/49社

平均年齢
40.8歳

繊維製品内 44位/49社

平均勤続
17.4年

繊維製品内 25位/49社

女性管理職
6.9%

繊維製品内 24位/37社

男性育休
92.8%

繊維製品内 14位/29社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：「マテリアルイノベーションセンター（MIC）」の開所式を開催

